



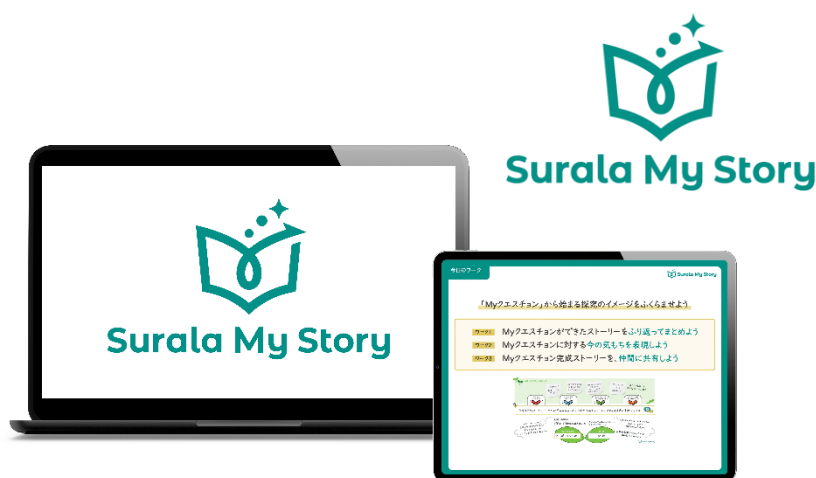
NEWS RELEASE

株式会社 すららネット
2026 年 2 月 13 日

探究の実践を深め、進路につなげる学びへ 学校現場の実践を踏まえ、学習設計と授業支援機能が進化した 探究学習教材「Surala My Story」2026 年 4 月より提供開始

AI を活用したアダプティブな対話式 ICT 教材の開発と提供を行う株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役：湯野川孝彦）は、探究学習教材「Surala My Story」（すらら マイストーリー）を 2026 年 4 月より機能を強化し、提供内容を大幅にアップデートいたします。

2025 年の提供開始以降、「問いづくりに悩む生徒が減った」「探究が作業にならず、生徒自身の言葉で語られるようになった」といった声が、学校現場から寄せられてきました。今回のアップデートでは、そうした実践の声をもとに、生徒の探究をより確実に前に進め、先生にとっても扱いやすい教材となるよう、学習設計と授業支援の両面を強化しています。



探究のプロセスと成果、授業運営までを強化した探究学習設計

2026 年 4 月のアップデートでは、自己分析から問いづくり、探究の実践までを支える学習設計を見直しました。探究の過程や成果をアウトプットとして整理・蓄積できる構成へと進化し、学びが進路やキャリアにつながる形で残ります。

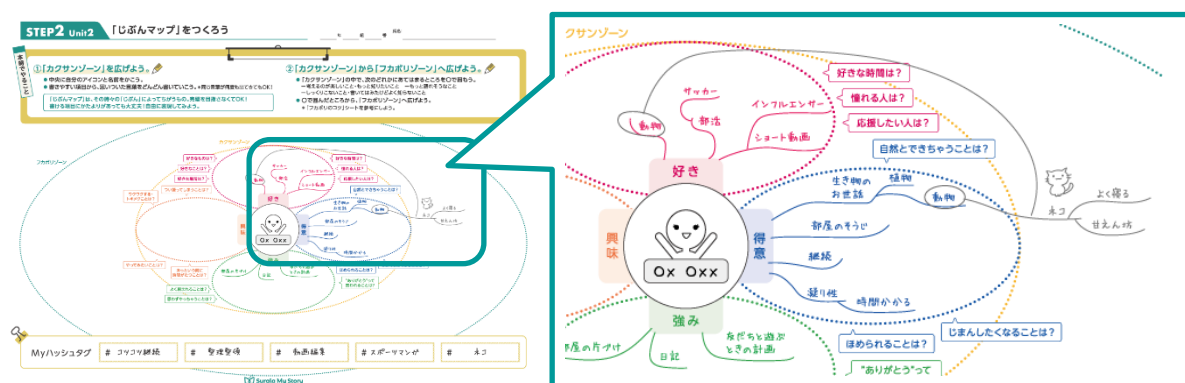
あわせて、授業準備・進行・評価を支える運営支援ツールを刷新し、生徒の主体的な探究と、先生の実践のしやすさを両立する教材へと進化しています。

【特長①】

「書けない」で止まらせない、思考を可視化する問いづくり設計

「Surala My Story」では、自己分析から問いの設定までを、スモールステップのワークシートと動画で丁寧にガイドします。文章を書くことが苦手な生徒でも取り組みやすいマインドマップ形式のワークを取り入れ、思いついたことを直感的に書き出しながら考えを整理できる設計です。

そのため、「文章にまとめようとする手が止まってしまう」「自分で思考を整理するのが苦手」といった生徒でも、無理なく探究を進めることができます。生徒は、誰かに与えられたテーマではなく、自分の関心や経験を起点に問いを見つけ、自分の問いをもって、探究活動を進められるようになります。



自分らしさを考えるユニットでは、マインドマップを活用したワークを導入。どんな生徒でも、頭の中に浮かんだことを直感的にアウトプットしながら自分自身について整理し、言語化を進めていきます。

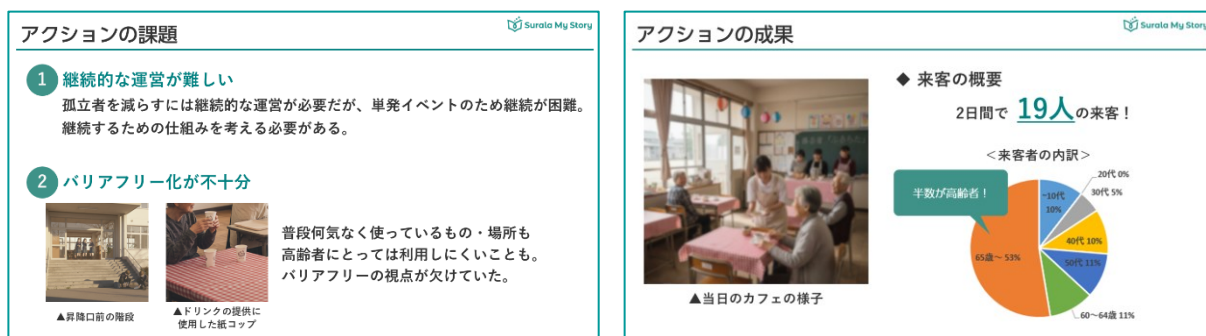
【特長②】

探究の成果が実践とアウトプットとして残り、進路・キャリアにつながる一貫カリキュラム

今回のアップデートでは、問いを立てて考えるだけで終わらせず、実際に行動して試してみる工程を取り入れました。校内外の人と関わりながら試行錯誤する中で、生徒は教室内だけでは得られない実践的な学びを経験します。

活動後には振り返りや発表を行い、改めて自己理解を深め、将来像や進路について考えるステップへとつなげます。探究の過程や成果は資料や発表スライドとして整理・蓄積できるため、先生にとっても活動のゴールや評価の観点を設定しやすくなります。そして、活動のプロセスと成果が整理されることで、評価の観点も共有しやすくなります。

探究を授業内で完結させず、進路指導や総合型選抜にもつながる学びとして位置づけられる点が特長です。



最終のアウトプットイメージ。探究活動を進路指導や総合型選抜にもつながる学びに導きます。

【特長③】

授業準備・進行・評価を支え、探究学習を無理なく継続できる運営支援ツール

探究学習では、生徒ごとにテーマや進度が異なるため、「授業の進め方がこれで良いのか」「どこまで関わるべきか」と授業準備や進行に悩む場面も少なくありません。

「Surala My Story」では、授業の進行例や声かけのポイントをまとめたマニュアルに加え、情報収集やインタビュー、アンケートの進め方など、探究でつまづきやすい作業を支援する生徒向けガイドを用意しています。

これらのツールにより、授業準備や進行の負担を軽減するとともに、教員間での指導ノウハウの共有や、経験年数による指導のばらつきの解消にもつながります。多忙な先生方でも、探究学習を継続的に実践しやすい環境づくりを支援します。

STEP2 Unit3 「Myハッシュタグ」をつくらう		授業マニュアル		Surala My Story 1/3	
生徒のゴール	生徒の活動	役割	先生の手配・サポート		
● 生徒のゴール ① 自分自身の興味・関心に基づき、マイハッシュタグをつくらうことができる。	● 授業開始の場から、生徒の興味・関心を引き出す。 ○ 授業の導入として、マイハッシュタグのイメージを提示する。	先生	● 授業開始の場から、生徒の興味・関心を引き出す。 ○ 授業の導入として、マイハッシュタグのイメージを提示する。		
● 授業の準備・進行 ① レポート・制作の準備 ② ワークシート・資料の準備 ③ ワークシート・資料の配布 ④ ワークシート・資料の回収 ⑤ ワークシート・資料の整理・保管	● 「Myハッシュタグ」を作成する。 ○ 「Myハッシュタグ」を作成する。 ○ 「Myハッシュタグ」を作成する。	生徒	● 授業開始の場から、生徒の興味・関心を引き出す。 ○ 授業の導入として、マイハッシュタグのイメージを提示する。		
● 授業の準備・進行 ① レポート・制作の準備 ② ワークシート・資料の準備 ③ ワークシート・資料の配布 ④ ワークシート・資料の回収 ⑤ ワークシート・資料の整理・保管	● 「Myハッシュタグ」を作成する。 ○ 「Myハッシュタグ」を作成する。 ○ 「Myハッシュタグ」を作成する。	生徒	● 授業開始の場から、生徒の興味・関心を引き出す。 ○ 授業の導入として、マイハッシュタグのイメージを提示する。		
● 授業の準備・進行 ① レポート・制作の準備 ② ワークシート・資料の準備 ③ ワークシート・資料の配布 ④ ワークシート・資料の回収 ⑤ ワークシート・資料の整理・保管	● 「Myハッシュタグ」を作成する。 ○ 「Myハッシュタグ」を作成する。 ○ 「Myハッシュタグ」を作成する。	生徒	● 授業開始の場から、生徒の興味・関心を引き出す。 ○ 授業の導入として、マイハッシュタグのイメージを提示する。		

充実の授業運営支援ツールで先生をサポートします。

「Surala My Story」は、探究学習を“やり切れない活動”から、“成果と成長が実感できる学び”へと進化させることを目指しています。2026年4月に大幅アップデートする本教材を通じて、すららネットは、学校現場とともに、これからの時代に求められる探究学習のあり方を追求していきます。

<「Surala My Story」活用事例動画のご紹介>

「Surala My Story」の共同開発を行った高校での活用事例を動画でご覧いただけます。

動画 URL <https://youtu.be/5ZU5R507mzo>

すららネットの探究学習教材「Surala My Story」

オンライン説明会開催

2026年2月27日（金） 17時～ @オンライン（参加無料）

すららネットでは、「Surala My Story」の大幅アップデートに先駆け、2月27日（金）17時より、探究学習に課題感をお持ちの学校のご担当教諭を対象に、オンラインセミナーを開催します。セミナーでは、進化した「Surala My Story」の最新情報の他に、実際に画面をご覧いただきながら授業の流れを紹介いたします。

【開催概要】

- 開催日時：2026年2月27日（金）17:00～18:00
- 内 容：探究を取り巻く状況／「問い」を重視した探究の実践事例
探究教材「すららマイストーリー」について
- 申し込み：専用フォームよりお申込みください
<https://surala.jp/school/seminar/5772/>
- お問合せ：gakkou_onb@surala.jp

■探究学習 ICT 教材「Surala Satellyzer」

探究学習で生徒自身に必要な基礎的な探究スキルとして、テーマに対する基本知識（課題への興味関心）、自分の考えを言語化してまとめる（論理力、語彙力）、メンバーと議論し内容を詰めていく（コミュニケーション力、思考フレームワーク）、この 3 点に着目しました。学習活動を行っていく中で、探究基礎スキルが自然に、確実に身につくプログラムの設計をしています。また先生に対しては、授業の事前準備の手間を省き、評価軸や評価方法の統一、探究学習で習得させるスキルの認識合わせができるよう指導マニュアルを完備しています。

NEC スペーステクノロジー株式会社と共同開発し、宇宙というテーマを通じて、遠い世界と実生活とのつながりなど幅広い視野を持つ機会を生徒に提供する ICT 教材です。

Surala Satellyzer



「Surala Satellyzer」公式 WEB サイト <http://surala.jp/school/service/satellyzer>

■株式会社すららネット

すららネットは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を。」を企業理念に掲げ、AI を活用したアダプティブな対話式 ICT 教材「すらら」「すららドリル」などを開発・提供しています。現在、国内の 3,100 校以上の学校や学習塾で導入され、約 26 万人の児童生徒が利用しています。全国の公立学校や有名私立学校、大手塾での活用が広がる一方、不登校や発達障がい、経済的困難な状況の子どもたちにも学習機会を届けることで、教育課題の解決に取り組んでいます。2017 年には、代表的な EdTech スタートアップ企業として東証マザーズ市場（現東証グロース市場）に上場しました。

- ・コーポレートサイト <https://surala.co.jp/>
- ・サービスサイト <https://surala.jp/>